



小倉虎舞保存会に獅子頭が贈られました

肥後の水資源愛護基金（長野吉彰理事長）と肥後銀行（小栗宏夫頭取）から小倉虎舞保存会（荒木秀孝会長）へ、「虎舞の獅子頭」の寄贈が決まり、その目録贈呈式が6月21日、阿蘇市役所で行われました。

これは、肥後銀行が小倉地区に「大観の森」を作ったのがきっかけで、その際、地区の人たちがこころよく協力されたことに感謝し寄贈に至ったものです。

式では長野吉彰氏が「植樹祭で披露された小倉虎舞を見て感動した、このような『人』も『環境』もすばらしい所に森づくりができたことを大変うれしく思う」と感謝を述べ、これに荒木会長は「保存会が復活して間もないが、みんな一生懸命に練習をしている、獅子頭をいただいたことはメンバーの励みになります」と喜ばれました。



▲長野会長から目録をうける荒木会長（左）



地域を知る学習にプロの案内人が協力

内牧小学校は、2年生の授業「まち探検」の説明を、日ごろから観光客に内牧の見どころを紹介している内牧案内人協会（井野貴志子代表）に協力してもらい、児童たちに詳しく、そして楽しく地元の魅力を学んでももらいました。

参加した2年生67人は2日間に分かれて内牧を散策し、登校の道筋に、こんなにたくさんの知らないこと、おもしろいことがあったんだ!と、地域の魅力を再発見しました。

案内人の皆さんのアクション付きのおもしろい話に、子どもたちは釘付けで、地元への興味や愛着が深まったようです。

旧阿蘇町体協がグランドゴルフ用具を寄贈

7月15日、旧阿蘇町体育協会（旧会長渡邊健児）から、阿蘇市へグランドゴルフ用具をいただきました。

これは、会が、合併に伴い残金となった旧阿蘇町体育協会の活動費を、市民の健康増進のために有効に使おうと、利用者の多いグランドゴルフ用具を購入し寄贈されたもので、用具は、農村公園あびかに設置されることになりました。

市民の皆さん、健康のため大いにご利用ください。



韓国の交流団に国技テコンドーを披露し歓迎

7月24日、韓国から「慶南青少年平和奉仕団」という友好を目的とした小・中学生の交流団25人が阿蘇を訪れ、熊本県テコンドー協会（阿蘇支部）の子どもたち20人が招かれ交流を行いました。宿泊先の阿蘇青年の家・武道場で行われた交流会で、まず、阿蘇の子どもたちが日ごろの練習を披露。これを見て韓国の子供たちは「すごくうまい！僕たちの国技をやってくれてうれしい」と大変喜び。本場の子どもに褒められて阿蘇の子どもたちも自信がついた様子でした。その後、互いの住所を交換するなどし、この出会いをきっかけに交流がスタート。互いの国を知るいい経験になりそうです。

